



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙ほか. 日本外科宝函 1936, 13(1)

ISSUE DATE:

1936-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/205599>

RIGHT:

ARCHIV  
FÜR  
JAPANISCHE CHIRURGIE  
XIII BAND, 1936

日 本 外 科 寶 函

第 13 卷

昭和 11 年

INOKO-ITO-VEREIN,  
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK,  
KYOTO, JAPAN.

京都帝國大學醫學部外科學教室內

日 本 外 科 寶 函 編 輯 室

(猪子・伊藤兩教授記念會)

# 日本外科實函 第13卷 (昭和11年)

## 總 目 次

### 原 著

#### 急性腸管閉塞症ニ關スル實驗的研究

- (I) Lイレウスヲ死因ト腸管ノ吸收ニ就テ ..... 竹 田 義 雄 (1)
- (II) Lイレウスヲ死因ト水分及ビ鹽素代謝ニ就テ ..... " (40)
- (III) Lイレウスヲ死因ト水分並ビニ食鹽給與ノ意義及ビ效果ニ就テ ..... " (63)
- (IV) 急性腸管閉塞症ニ於ケル血液形態學的變化及ビ赤血球沈降反應ニ就テ ..... " (86)

#### 皮膚ニ作爲セラレタル Locus minoris resistentiae ノ必發的血

- 行感染ヲ豫防スルニ必要ナルLコクチゲン<sup>7</sup>軟膏貼用時間ノ研究..... 吉 田 久 士 (104)

#### 輸尿管ノ膀胱内移植ニ就テノ實驗的研究補遺(其ノ1)

- 移植後ノ膀胱感染ニ續發スル上部尿路ノ感染ニ就テ..... 田 淵 尹 (117)
- 葡萄糖加免疫元ノ内服ニヨル腹腔免疫ノ獲得ニ就テ..... 赤 土 正 英 (125)

#### 實驗的急性Lイレウス<sup>7</sup>ノ研究(第3報)

- 急性腸閉塞ニ於ケル腸管内瓦斯ノ運命並ビニコレガ生體ニ及ボス影響ニ就テ..... 

三末高立	羽廣岡井	兼茂辰宗	義逸雄光
------	------	------	------

 (139)

#### 骨髓ノ局所免疫

- (I) 抗白色葡萄狀球菌Lオプソニン<sup>7</sup>ノ局所性骨髓内產生ニ就テ ..... 仲 田 實 三 郎 (201)
- (II) 免疫元ノ骨髓内注射ニヨル局所性及ビ全身性特殊Lオプソニン<sup>7</sup>產生ノ時間的關係 ..... " (203)
- (III) 同一程度ノ最大Lオプソニン<sup>7</sup>量ヲ局所骨髓中乃至流血中ニ產生セシムルニ要スルLコクチゲン<sup>7</sup>量ノ吟味 ..... " (216)
- (IV) 骨髓内最大Lオプソニン<sup>7</sup>產生ニ就テノ吟味(局所骨髓内產生特殊Lオプソニン<sup>7</sup>ハ免疫元ノ局所骨髓内注射回数ト共ニ無限ニ増大スルヤ) ..... " (224)
- (V) 骨髓免疫ノ本態ニ關スル實驗的立證 ..... " (233)

急性化膿性骨髓炎患者ニ於ケル白色葡萄狀球菌増容素ニ就テ	"	(243)
急性化膿性骨髓炎ノ統計的觀察	"	(251)
輸尿管ノ膀胱内移植ニ就テノ實驗的研究補遺(其ノ2)	田 淵 尹	(264)
細菌感染ニ對スル腹腔ト他ノ體部トノ抵抗比較	竹 田 義 雄	(273)
結核菌各種成劑ニ於ケル $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ノ研究		
(I) 東京私立北里傳染病研究所製舊 $\text{L}$ ツベルクリン $\text{r}$ ノ催 食菌作用 $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ 現象	辰 井 正 平	(290)
術後ノ耳下腺炎ニ就テ		
(耳下腺ハ他ノ唾液腺ニ比シ果シテ炎症ヲ招來シ易キヤ) …	田 淵 尹	(365)
慢性腸閉塞症ニ關スル實驗的研究		
(I) 血液形態學的變化ニ就テ	竹 田 義 雄	(379)
胃ノ各部ニ於ケル含血量ノ研究		
(I) 家兎ノ胃ニ就テ	仲 田 實 三 郎	(392)
抗結核菌増容素ノ研究		
(I) 結核菌 $\text{L}$ コクチゲン $\text{r}$ 軟膏貼用ニ依ル局所皮内増容素 ノ產生ニ就テ	庄 山 省 三	(463)
(II) 結核菌 $\text{L}$ コクチゲン $\text{r}$ 軟膏皮膚貼用ニ依ル血中増容素 ノ產生ニ就テ	"	(474)
(III) 軟膏含有免疫元ノ濃度並ビニ量ト局所皮膚内產生増 容素量トノ關係	"	(480)
結核菌各種成劑ニ於ケル $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ノ研究		
(II) 東京私立北里傳染病研究所製舊 $\text{L}$ ツベルクリン $\text{r}$ ノ $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ノ完全破却ニ要スル好適煮沸時間ノ 決定	辰 井 正 平	(492)
胃ノ各部ニ於ケル含血量ノ研究		
(II) 犬ノ胃ニ就テ	仲 田 實 三 郎	(500)
慢性腸閉塞症ニ關スル實驗的研究		
(II) 肝臟機能ニ及ボス影響ニ就テ	竹 田 義 雄	(505)
抗結核菌増容素ノ研究		
(IV) 結核菌免疫元軟膏皮膚貼用量ト全身獲得免疫程度 (血清増容素トノ量的關係)	庄 山 省 三	(579)
(V) 皮膚浸出液ヲ以テセル結核菌増容反應ノ菌種族特異 性ニ就テ	"	(589)

結核菌各種成劑ニ於ケル $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ノ研究

- (Ⅲ) 東京私立北里傳染病研究所製舊 $\text{L}$ ツベルクリン $\text{r}$ 含有 $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ニ依ル抗大腸菌特殊免疫凝集素產生ノ阻害 ..... 辰 井 正 平 (597)

## 抗結核菌増容素ノ研究

- (Ⅵ) 免疫元貼用ニ依ル皮膚内產生増容素ノ吟味 ..... 庄 山 省 三 (657)
- (Ⅶ) 結核菌ノ増容反應菌株特異性ニ就テ ..... " (663)

 $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ノ免疫阻止作用

- (Ⅰ) 實驗的家兎膿漏眼ニ於ケル淋菌 $\text{L}$ コクチゲン $\text{r}$ ノ治療效果ニ對スル生・煮腸 $\text{L}$ チフスワクチン $\text{r}$ ノ影響 ..... 中 川 觀 (677)
- (Ⅱ) 實驗的家兎膿漏眼ニ於ケル淋菌 $\text{L}$ コクチゲン $\text{r}$ ノ治療效果ニ對スル生・煮葡萄狀球菌 $\text{L}$ ワクチン $\text{r}$ ノ影響 ..... " (683)
- (Ⅲ) 實驗的家兎膿漏眼ニ於ケル淋菌 $\text{L}$ コクチゲン $\text{r}$ ノ治療效果ニ對スル生・煮連鎖狀球菌 $\text{L}$ ワクチン $\text{r}$ ノ影響 ..... " (689)
- (Ⅳ) 實驗的家兎膿漏眼ニ於ケル淋菌 $\text{L}$ コクチゲン $\text{r}$ ノ治療效果ニ對スル生・煮淋菌 $\text{L}$ ワクチン $\text{r}$ ノ影響 ..... " (694)

- 淋菌 $\text{L}$ ワクチン $\text{r}$ 同 $\text{L}$ アナワクチン $\text{r}$ 及ビ $\text{L}$ アルチゴン $\text{r}$ 生(原)・煮兩免疫元ノ治療效果ノ比較 ..... " (701)

淋菌 $\text{L}$ アナワクチン $\text{r}$ ニ關スル免疫學的研究

- (Ⅰ) 淋菌 $\text{L}$ アナワクチン $\text{r}$ ノ毒力 ..... " (715)
- (Ⅱ) 抗大腸菌凝集素ノ免疫的產生ヲ指標トスル淋菌 $\text{L}$ アナワクチン $\text{r}$ 含有 $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ノ立證 ..... " (725)
- (Ⅲ) 抗馬血清特殊沈澱素產生ヲ指標トスル淋菌 $\text{L}$ ワクチン $\text{r}$ 及ビ $\text{L}$ アナワクチン $\text{r}$ ノ抗原性能動力ノ比較 ..... " (735)
- (Ⅳ) 喰菌作用ヲ指標トスル淋菌 $\text{L}$ ワクチン $\text{r}$ 及ビ $\text{L}$ アナワクチン $\text{r}$ ノ抗原性能動力ノ比較 ..... " (744)

結核菌各種成劑ニ於ケル $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ノ研究

- (Ⅳ) 東京私立北里傳染病研究所製造舊 $\text{L}$ ツベルクリン $\text{r}$ 含有 $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ ニ依ル抗馬血清特殊沈澱素產生ノ阻害 ..... 辰 井 正 平 (753)
- (Ⅴ) 大日本帝國政府傳染病研究所製舊 $\text{L}$ ツベルクリン $\text{r}$ ノ催喰菌作用 $\text{L}$ イムペデン $\text{r}$ 現象 ..... " (762)
- (Ⅵ) 大日本帝國政府傳染病研究所製 $\text{L}$ ツベルクリン $\text{r}$ ノ含

有スル <sub>L</sub> イムペデン <sub>7</sub> ノ完全破却ニ必要ナル煮沸時間 ノ研究 .....	"	(772)
(Ⅷ) 東京私立北里傳染病研究所製感作結核 <sub>L</sub> ワクチン <sub>7</sub> IV (志賀)ノ催喰菌作用 <sub>L</sub> イムペデン <sub>7</sub> 現象 .....	"	(781)

### 臨床及ビ臨床講義

遊走腎ニ原因スル胃腸通過障礙症ノ本態ニ就テ .....	宮 司 克 己	(148)
上膊骨髁上骨折ノ療法, 特ニ其ノ鋼線牽引療法ニ就テ .....	岡 村 好 幸	(303)
多發性原發癌ノ1例 .....	石 野 琢 二 郎	(320)
臍胸遺殘死腔ノ治療方針ニ關スル木島學士ノ發表ニ就テ .....	鳥 潟 隆 三	(331)
痛腫性頸部淋巴腺腫 .....	横 山 正 夫	(400)
精密壓迫固定器 .....	石 野 琢 二 郎	(404)
男子尿失禁症ノ手術的療法ニ就テ .....	矢 島 忠 久	(515)
瘰癧ノ <sub>L</sub> コクチゲン <sub>7</sub> 軟膏及ビ <sub>L</sub> ワクチン <sub>7</sub> 軟膏ニ依ル治療成績 比較 .....	竹 内 次 郎	(523)
扁桃腺炎ニ續發セル葡萄狀球菌性瀰蔓性腹膜炎ノ1例 .....	長 岡 浩	(611)
舌癌 (Zungenkrebs) .....	鳥 潟 隆 三	(155)
急性感染性骨髓炎 (Osteomyelitis infectiosa acuta) .....	"	(329)
急性化膿性耳下腺炎 .....	"	(412)
腦下垂體腫瘍 (Hypophysentumor) .....	"	(535)
蟲様突起炎 (Appendicitis) .....	"	(792)

### 臨 床 瑣 談

瘰癧ノ <sub>L</sub> コクチゲン <sub>7</sub> 軟膏及ビ <sub>L</sub> ワクチン <sub>7</sub> 軟膏ニ依ル治療成績 比較 .....	竹 内 次 郎	(161)
耳下腺腫瘍ノ1例 .....	井 上 諒	(161)
頸部淋巴腺腫脹中ニ見出サレタル癌腫ノ1例 .....	横 山 正 夫	(162)
横隔膜下膿瘍ノ1異例 .....	西 村 健 治	(162)
逆行性嵌頓 <sub>L</sub> ヘルニア <sub>7</sub> ノ1治驗例 .....	加 藤 辰 三 郎	(163)
蟲様突起ノX線検査ニ就テ .....	吉 田 久 士	(163)
廻盲部ノX線學的研究 .....	庄 山 省 三	(164)
中頭蓋窩 <sub>L</sub> ノイリノーム <sub>7</sub> 剔出治驗例 .....	荒 木 千 里	(337)
上顎癌切除術ノ根治性ニ對スルX線學的吟味 .....	"	(338)

腰薦部交感神経切除術後＝併發セル右側急性術後肺虚脱症ノ

1例	高橋幹夫	(339)
迷行脾臓ノ1例	田淵尹	(341)
腎臓周囲膿瘍ヲ伴ヘル無痛性腎臓結石ノ1例	高橋幹夫	(341)
無痛性唾石症	房岡隆三	(420)
幸運ナル経過ヲ取レル急性脾臓炎ノ1例	生野正	(420)
十二指腸X線診断法、特ニ「十二指腸單獨撮影法」ニ就テ	高安彰	(421)
被膜内腎臓剝出術ノ1例	上村溫夫	(422)
追加	原要	(422)
X線ノ局所照射ニ依ル全身性影響	廖一雄	(547)
左下顎部ニ現ハレタル耳下腺腫瘍	宇野充	(548)
1種ノ侵蝕性潰瘍	宇野充	(548)
大腿骨骨折ノ治療方針ニ就テ	吉益爲則	(549)
追加	右原康次	(549)
巨大ナル肉腫性脾臓囊腫	宇野充	(550)
接種結核ノ1例	三谷恒夫	(616)
轉移性頭蓋骨病腫ノ1例	安江高助	(798)
外傷性癲癇ノ2例	山田弘	(798)
原發性舌膿瘍ノ1例	竹内信一	(800)
7ヶ月ノ妊婦ニ於ケル蟲様突起炎性汎發性化膿性腹膜炎	村上治朗	(800)

#### 臨床診断ト手術所見

胃癌切除4年後ニ發生セル腹部腫瘤	井上諒	(165)
結核性胃穿孔ノ1例	野垣一	(165)
「リグラ」カ寒性膿瘍カ	神前俊次	(342)
異物性炎症性腹壁腫瘤ノ1例	武安俊助	(422)
追加1	原要	(423)
追加2	盛彌壽男	(423)
「イレウス」ノ1異例	上月貞藏	(551)
腎臓腫瘍ノ1例	宇野充	(551)
廻腸穿孔ノ1異例	川上儀三郎	(553)
腹壓ニ依ルS字狀結腸破裂	上月貞藏	(553)

急性脾臓壊死力，腸管膜捻轉症力	植 木 龜 三	(617)
腸管囊腫様氣腫ノ1例	平 澤 好 昭	(802)
結核性糞瘻	神 前 俊 次	(803)

### 手術方法ノ研究

理想的肛門直腸遊離法(遊離筒使用)	庄 山 省 三	(555)
-------------------	---------	-------

### 學 會

#### 第3回滿洲外科集談會

新京ニ於ケル犬咬症例ニ就テ(其ノ他11編)	(344)
-----------------------	-------

#### 第41回近畿外科學會

靜脈麻醉劑ノ皮下並ニ筋肉内注射實驗(其ノ他82編)	(424)
---------------------------	-------

#### 第42回近畿外科學會

低張液ノ生體ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究(其ノ他68編)	(619)
-------------------------------	-------

### 講 演

歐米外科巡歴談	大 澤 達	(177)
---------	-------	-------

### 雜 纂

在米荒木講師ヨリノ通信	(653)
同	(819)

### 外 國 文 獻

#### 一 般

破傷風ノ抗血清並ニ「アナトキシン」注射ニヨル人體抗毒	
免疫期間及ビ效價ニ就テ	(R. Redi) (168)
皮膚電氣反應ニ及ボス循環障礙ノ影響	(G. Witte) (168)
迷走性(跳躍性)血栓性靜脈炎及ビソノ病因	(J. Jáki) (168)
柔軟式胃鏡ニ由ル診斷學的胃直達検査法	(R. Schindler) (169)
兔脣並ニ口蓋破裂ノ遺傳的過程	(C. H. Schröder) (169)
放射線ニヨル腹腔臟器障礙	(O. Schürch u. E. Uehlinger) (169)
被寫體ノ一部分ノ分離像ヲ得ルX線寫眞法ニ就テ	(Z. Plantes) (170)



手術時疼痛＝對スル麻醉法ノ併用.....	(M. Friedemann)	(352)
甲状腺心臓疾患ト麻醉.....	(L. F. Siss)	(352)
血液補給劑＝就テ.....	(Konrich)	(352)
手術中ノ組織學的診斷＝就テ.....	(C. A. Hellwig)	(352)
溶血性連鎖狀球菌感染＝對スル免疫輸入及ビ抗毒素療法.....	(C. Lyons)	(353)
皮膚消毒ノ比較研究.....	(H. Ehler)	(353)
1 新創傷治療法.....	(J. Linka)	(353)
創傷治癒及ビ腹膜癒着＝關スル實驗の臨床的報告.....	(V. von Hove)	(353)
丹毒症ノ Prontosil 療法.....	(J. Lampert)	(354)
帶電沃度原子滲透法＝ヨル「アクチノミコーゼ」ノ有望ナル新療法 .....	(M. Wassmund)	(354)
脂肪栓塞.....	(R. I. Harris)	(354)
外傷＝續發セル肺栓塞.....	(J. S. Mc. Cartney)	(355)
第Ⅳ性病ノ外科的意義＝就テ.....	(J. Hofhanser)	(355)
虚脱ノ診斷.....	(E. Bretschger)	(440)
輸血時ノ溶血性「シヨツク」ノ本態＝就テ.....	(W. Iljin u. A. Mincev)	(440)
輸血時＝於ケル溶血性「シヨツク」ノ本態＝就テノ實驗的研究 第Ⅴ報 異種血液各成分ノ動物體＝對スル毒作用＝就テ .....	(J. Petroff und L. Bogomolova)	(440)
輸血時ノ溶血性「シヨツク」ノ本態＝就イテ 第Ⅵ報 實驗動物＝於テ異種血漿及ビ異種赤血球ノ腎機能＝ 及ボス影響＝就テ.....	(W. Iljin)	(441)
癌腫患者＝於ケル炎症反應ノ意義.....	(K. Ebhardt u. G. Weinholtz)	(441)
交感神経系ノ手術適應症.....	(A. M. Adson)	(442)
末梢血管ノ疾患＝於ケル交感神経手術ノ適應症決定＝就テ.....	(H. Kohlmayer)	(442)
脂肪栓塞療法ノ實驗研究.....	(E. Rappert)	(571)
血壓亢進症＝關スル外科.....	(W. Adson, Craig & E. Brown)	(571)
交感神経「デアフテレーゼ」ノ甲状腺機能＝及ボス影響＝就テ... (E. v. Daniel)		(571)
外部脾脱疽ノ治癒＝就テ.....	(P. Graf)	(571)
高壓「エーテル」麻醉.....	(M. Tiegel)	(805)
「リビオドベリトネウム」.....	(P. L. Mirizzi)	(805)
甲状腺作用ト創傷治癒＝就テ.....	(H. Fitel u. O. E. Riecker)	(805)

重症火傷ノ早期手術ニ就テ..... (A. Læwen) (805)

## 頭部, 顔部

前頭蓋窩腦砂腫ノ1例..... (K. Galdhamer) (170)

腦外傷ニ伴ヘル血糖量變動ニ就テ..... (A. Lurje) (170)

前頭骨内瀰蔓性骨増生..... (S. Moore) (355)

三叉神経痛..... (G. Horrax. & J. L. Poppen) (355)

正常腦壓下及ビ實驗的ニ上昇セシメタル腦壓下ニ於ケル高張溶液ノ

脱水減壓作用ニ就テ..... (M. Oi) (442)

高張護謄液ト腦壓ノ膨壓療法..... (G. Jorns) (443)

膠質二酸化 $\text{Li}$ トリウム $\text{I}$ ニ依ル腦室造影法  
..... (W. Freemann, H. H. Schaenfeld, C. Moore) (443)

腦震盪ノ治療ニ就テ..... (Ritter) (806)

外傷性腦嚢腫ニ就テ..... (Kroll) (806)

神経纖維腫症ニ於ケル兩側聽神経腫瘍..... (Leonard Kraus) (806)

## 胸部

胸壁肉腫剔出ニ伴ヘル廣範ナル肺臓切除術..... (R. Nissen) (355)

右心内ノ針並ニ其ノ際ノ $\text{E}$ レクトロカルヂオグラム $\text{I}$ ニ

於ケル變化..... (R. Nissen u. M. Güchan) (356)

通過障碍無キ原發性食道癌ニ就テ..... (R. W. Mathews & J. G. Schnabel) (356)

## 腹部

腹膜炎ニ於ケル血清療法ノ成績..... (O. Kapel) (170)

動脈硬化性腹腔内溢血..... (R. Buchbinder & I. Gveene) (171)

腸間膜靜膜血栓..... (S. Warren & T. P. Ekerhard) (171)

横隔膜下膿瘍ノ手術的治療ニ於ケルブエラウ氏留置

胸腔排膿管..... (G. Pototschnig) (171)

食道癰瘍性狭窄症ニ對スル無端消息子法ノ1考案..... (G. S. Toprower) (171)

手術不能ノ胃潰瘍ニ先ヅ肝油煎療法ヲ..... (W. Löhr) (172)

消化性胃潰瘍ノ1療法タル胃底部切除術..... (Seely, Zollinger) (172)

穿孔セル胃及ビ十二指腸潰瘍ノ切除..... (W. Koennecke) (172)

胃腸吻合口ノ癌腫..... (A. Luye) (172)

胃中ノ異物(經口の胃直達鏡ニヨル除去)..... (L. H. Cierf) (173)

總輸膽管 $\text{I}$ ドレナージ $\text{I}$ 後ニ惹起セル總輸膽管破裂..... (Fr. Bernhard) (173)

脾臓嚢腫ノ十二指腸吻合術..... (F. Kirschner) (173)

Jedlicke 氏脾臓囊腫手術法補遺.....	(F. Polák)	(173)
脾臓淋巴濾胞ノ惡性肥大.....	(H. R. Dlecker & H. G. Little)	(173)
急性廻腸結腸炎.....	(I. H. Erb & A. W. Farmer)	(174)
Hirschsprung 氏病ニ於ケル交感神経切除術ニ就テ.....	(H. W. Pässler)	(174)
大腸炎ノ症狀補遺.....	(E. Zdansky)	(175)
人ノ噴門検査法ニ就テ.....	(B. Herzberg, A. Rogov u. P. Rudnicky)	(356)
臨床經驗ニ依ル噴門痙攣ノ原因及ビ療法ニ就テ.....	(A. Fromme)	(356)
噴門痙攣症ヘノ1新術式.....	(G. Lotheissen)	(357)
腸ノ紫外線照射後ニ於ケル腹腔ノ吸収ト循環.....	(R. Friedrich)	(357)
膽嚢ト肝臓間ノ淋巴系結合.....	(W. Bartlett)	(357)
術後ノ膽汁瘻ニ於ケルX線検査ノ外科的意義ニ就テ.....	(E. Mester (Kaufman))	(357)
重篤黃疸症ノ外科的療法トシテノ膽瘻造設術.....	(Fr. Bernhard)	(358)
小腸ノW字狀鉗頭ヲ作ヘル右側十二指腸窩ニヘルニアノ1例.....	(R. Takashima, H. Hirano u. Ikeda)	(358)
一纏ニ還納セラレタル脱腸ニ就テ.....	(L. H. Nason & C. G. Mixer)	(358)
人工肛門ノ1閉鎖法.....	(H. W. Cave)	(358)
汎發性腹膜炎ニ對スル Laparophoslampe ノ效果.....	(H. Nowotny)	(443)
迷ヒ易キ腹腔ノ急性重複病像ニ就テ.....	(E. Mester)	(443)
脾臓瘻, ウイルスング氏管ヨリノ導管挿入例.....	(W. H. Snycler)	(444)
蛔蟲群ノX線像.....	(E. Ruckenstein)	(444)
廻腸及ビ結腸炎ノ混合型ニ就テ.....	(B. B. Crohn & B. D. Rosenak)	(444)
消化性潰瘍ニ對スル外科的適應症及ビ其ノ外科的處置.....	(M. E. Blahd)	(572)
總輸膽管結石ノ診斷ト處置ニ就テ.....	(W. Allen)	(573)
トライツニヘルニアニ基因セル急性脾臓壊死.....	(H. von Winterfeld)	(573)
糖尿病ノ觀血的療法ニ對スル考察.....	(Th. Hüttel)	(573)
鼠蹊ニヘルニアノ根治手術ニ就テノ新法.....	(Tr. Bona)	(573)
急性腹膜炎(北歐外科學會報告).....	(Diskussionsthema)	(806)
胃腸吻合部ニ發生セル十二指腸空腸彎曲部痛ノ接種轉移.....	(P. Boecker)	(808)
ワイペル・パーソンス・ミュラン氏法ニ依ル乳頭部及ビ		
脾臓頭部癌腫根治手術治驗例.....	(V. Orator)	(808)
若年者ニ見ラル、胃及ビ十二指腸潰瘍ノ外科的療法ニ就テ.....	(H. Meltzer u. H. Graf)	(808)
空腸潰瘍ノ手術的處置ニ對スル新切除法.....	(O. Káipáti)	(809)

- 腸管囊腫様氣腫ノ發生並ニ瓦斯腹膜炎トノ問題..... (L. Achmatowicz) (809)
- 腸管囊腫様氣腫ノ1例ニ就テ..... (N. Onaca, u. I. Kovacs) (809)
- 急性脾臓壞死ニ於ケル論争問題(維納外科學會報告)..... (R. Demel) (810)
- Talma ノ手術ニ對スル臨床的並ニ實驗的考察..... (Otto Henningsen) (811)
- 整復シ得ル「ヘルニア」ニ對スル注射療法  
..... (W. M. Mcmillan & D. R. Cunningham) (811)
- 廻腸終末部ニ於ケル非特異性限局性蜂窩織炎性炎症補遺..... (H. Gisbertz) (811)

## 腎泌尿器系

- 經肋膜の腎固定術..... (W. J. Moore) (175)
- 膀胱憩室ノ側方到達法..... (D. R. Melen) (175)
- 折撲性陰莖折傷..... (H. M. Mackey & G. A. Hawes) (175)
- 健常馬蹄腎ノ峽切斷ハ適切ナル手術ナリヤ..... (R. Chwalla) (359)
- 腎臓刺傷ニ就テ..... (H. Gatersleben) (359)
- 正常膀胱ノ特發性腹腔内破裂..... (R. W. Barnes & A. A. Steele) (359)
- 弛緩性膀胱ノ療法..... (W. F. Brassch & G. J. Thompson) (359)
- 小兒ニ於ケル上部泌尿器異常ニ對スル外科的處置..... (M. F. Campbell) (445)
- 女子尿道ノ先天性閉塞..... (W. E. Stevens) (446)
- 睾丸停滯ノ手術的療法ニ就テ..... (V. Lieblein) (574)
- 2年間觀察セシ、小腸環増設術ヲ施セル萎縮膀胱ノ1例..... (Th. Hühne) (812)
- 鼠蹊淋巴肉芽腫ノ生殖器外障碍..... (Vernon, C. David and Mark Loring) (812)
- 性病の淋巴系疾患..... (R. M. Thompson) (813)
- 交接可能ニ迄恢復シタル陰莖成形術ニ就テ..... (N. Bogoras) (813)

## 四 肢

- 膝屈曲攣縮ニ對スル骨牽引療法..... (G. E. Haggart) (175)
- 下肢象皮病ノ外科的處置..... (K. Ghormley) (176)
- 小兒麻痺足ニ於ケル腱移植ノ經驗..... (Fr. Mommsen) (359)
- 下肢ノ靜脈炎血栓生成及ビ血栓性靜脈炎..... (M. Zimmerman) (360)
- 副甲状腺別出術ニ依ル慢性「ロイマチス」性多發性關節炎及ビ  
脊椎關節炎ノ治療ニ就テ..... (B. Schkurov, Kharkov) (360)
- 「アセチルヒヨリン」ニ依ル關節強直(固定法ニ由來セル)  
豫防ニ就テ..... (M. R. Francillon) (360)
- ビュルゲル氏型閉塞栓子性血管炎ノ臨床ト病理組織ニ就テ

.....	(I. Lindenbaum u. L. Kopitza)	(446)
腰部交感神経切除 = ヨル股動脈栓塞ノ治療.....	(G. Bedrna)	(447)
下肢伸長手術46例ノ統計.....	(A. Brockway)	(447)
象皮病ノ療法 = 就テ.....	(R. Finaly)	(447)
Dupuytren 氏攣縮ノ手術的效果.....	(Gerritzen)	(447)
Dupuytren 氏指攣縮 = 關スル2, 3.....	(E. Moser)	(448)
糖尿病性壞疽ノ切斷部位ノ選定.....	(M. Mátyás)	(574)
驅血帶ヲ使用セザル切斷操作 = 就テ.....	(W. S. Nowikoff)	(574)
小兒脊髓麻痺 = 於ケル麻痺脚ノ發育 = 及ボス腰部交感神経 節切除術ノ影響.....	(R. I. Harris & J. L. Modonald)	(575)
足關節後制動法.....	(M. Hackenbrock)	(575)
慢性靜脈瘤性潰瘍ノ療法.....	(L. Saylor, J. Kovacs, A. W. Duryce, I. Wright)	(813)
骨髓炎瘻ノ治療 = 就テ.....	(O. Stracker)	(814)
大腿骨頸部骨折ノ針固定法 = 對スルニ新補助法.....	(G. Hüntscher)	(814)
大腿骨上1/3及ビ大腿骨頸部骨折ノ治療法.....	(Richard Bertelsmann)	(815)
小兒骨髓炎 = 就テ(維納外科學會報告).....	(H. Salzer)	(815)

## 骨

ルビタミン <sup>7</sup> Dト假骨形成.....	(J. Marx)	(176)
幼兒 = 於ケル骨髓膜炎 = 就テ.....	(R. B. Dillehunt)	(176)
骨再生 = 及ボスルビタミン <sup>7</sup> Cノ影響 = 就テノ實驗的研究.....	(H. Hanke)	(360)
幼兒ノ骨髓炎.....	(W. T. Green)	(361)
骨周圍性假骨腫 = 就テ.....	(H. Merlin)	(448)
半月狀骨壞死ノ原因 = 就テノ解剖的觀察.....	(J. Köstler)	(575)

日本外科寶函 第13卷 第1號

頁	行	誤	正
4	上ヨリ 3 行	Gerad	Gerard
43	上ヨリ 7 行	Vorhard	Volhard
43	上ヨリ 8 行	29.075g/e	29.075g/l
43	〃	8.3g/e	8.3g/l

# 人名索引

原著ハ太字 臨床ハ斜字 學會ハ普通 雜ハ( )

<b>A</b> 足立信道 安達次郎 天野謙吉 荒木千里 有原康次	<b>A</b> 427, 633 347 630 337, 338, 430 549	今津九右衛門 井上諒 石野琢二郎 石山福二郎 岩木年中 岩崎吉次 岩崎農	424 161, 165, 430 330, 404 625 437 432, 622 557
<b>B</b> 馬場重孝 馬場作二 坊岡富二夫	<b>B</b> 349 624, 632 623		
<b>C</b> 近澤秀雄	<b>C</b> 437	梶村利男 鴨田正治	<b>K</b> 427 350
<b>F</b> 藤川良芳 藤田小五郎 藤田登 富士原晴雄 福田浩藏 船越金治郎 船越高浪 房岡隆三	<b>F</b> 431 568, 626 622 434 430 564, 629, 635 561, 635 420	笠原親之助 加藤亮之輔 加藤辰三郎 加藤恒夫 勝井富三郎 川口吉榮 河端明 川上儀三郎 河村壽郎 河村謙二 河野宗喜 川崎忠夫	347 570, 637 163, 439 619 631 565, 624 624 553, 634 623 563, 564, 624, 635 420 629
<b>H</b> 濱光治 原要 原守藏 早川正巳 平林榮 平澤好昭 弘重充 堀口清良 星野孝俊	<b>H</b> 568 422, 423 623, 629 632 427 802 633, 638 432 433	革島悟郎 河津祐弘 木田義雄 木口直二 菊川勤也 岸原正 喜多猛 木全刀 小松廣吉	623 563, 564, 624, 635 420 629 631 439 559 629 621 567 630 631 630 342, 803
<b>I</b> 伊庭利治 飯尾宗三 池田浩藏 生野正 板垣忠次郎	<b>I</b> 560 621 436 420, 557, 631 428, 631	神前俊次 小山潔 上月貞藏 來須正男 馬淵通夫	619 553, 803 623 <b>M</b> 345

松田善衛	430
松木軍太	430
松村正重	565
松繁 薫	563, 564
松浦昌人	563, 564, 635
峰 勝	560, 636
三島電三	568
三谷恒夫	616
三羽兼義 (Mitsuba, K.)	139, 620
三井善二	569, 621
光永三郎	629
宮司克己	148
毛利秀夫	632
森 健一	346, 351
盛彌壽男	423
森山良二郎	437
村上治朗	800
村田由一	563
村上德太郎	566, 631
武藤完雄	632, 637

## N

永井 巖	430, 431
長井 忠	621
長岡 浩	611
長谷武雄	565
仲田實三郎 (Nakada, J.)	201, 203, 216, 224
	233, 243, 251, 392, 500
中川 觀 (Nakagawa, K.)	677, 683, 689, 694
	701, 715, 725, 735, 744

中川正美	432
中島俊郎	348
中森政一	558
中村一郎	562
中野 貞	635
中尾行保	425, 565, 627
中山清一	426, 620
並川 力	561, 635
西井健治郎	637
西島藤治郎	568
西村健治	162
西浦一彦	424
野 垣 一	165

野間安則	437
O	
織田元一郎	558
萩野金八	436, 636
小鹿順一	565
大野良藏	559
大澤 達	(177) 632
岡村好幸	303, 562
小澤凱夫	425, 636

## R

廖 一 雄	547, 638
-------	----------

## S

嵯峨友市	567
齋藤 弘	622
櫻井雅四郎	430
佐々木秀貫	627
佐藤和夫	635
佐谷秀雄	433
赤土正英 (Shakudo, M.)	125
島 薫	558, 623
東海林吉平	562
庄山省三 (Shoyama, S.)	164, 463, 474, 480
	553, 561, 579, 589, 630
曾我頼幸	631
末廣茂逸 (Suehiro, S.)	139, 427, 620
菅居正素	428, 620
菅野大作	634
澄川龍祐	345

## T

田淵 尹 (Tabuchi, S.)	117, 264, 341, 365
立井宗光 (Tachii, M.)	139, 631
田賀喜内	427
高橋幹夫	339, 341, 557
高井良雄	621
高岡辰雄 (Takaoka, T.)	139
高折隆一	429
高安 彰	421, 633
高田貫太郎	427
武田 博	437, 619
武田義章	624
竹田義雄 (Takeda, Y.)	1, 40, 63, 86, 273,
	379, 505



竹岡友文	623
竹内次郎	161, 523, 568
武内清	628
竹内信一	800
武安俊助	422, 629
田中哲之助	435
辰井正平 (Tatsui, S.)	290, 492, 597, 753 762, 772, 781
牛東令胤	622
富永貢	438
富永宜暢	629
鳥潟隆三	155, 329, 331, 412, 535
土岐勝人	344
津田潔	430, 439
塚原伸光	434, 569
角田英雄	627
鶴身孝雄	433
<b>U</b>	
内海忠	428, 620
植木龜三	617
上村一夫	569
上村温夫	422, 434, 562
上村良一	559, 633
宇野尧	548, 550, 551, 557, 561, 631, 637

宇山俊三	426
<b>W</b>	
和田節雄	619
渡邊壽之助	439
<b>Y</b>	
山田弘	798
山田評吉	433
山口正二	623
山中四郎	434, 560, 629
山下龜之助	348
山内達雄	557, 595
山崎直治	564
矢島忠久	515
保田哲太郎	429
安江高助	798
安武幸夫	350
横山正夫	162, 400
横山保	559, 631
吉田諦視	637
吉田久士 (Yoshida, II.)	104, 163, 561
吉益爲則	549
吉松茂久	431
吉岡英一	429

# 事物索引

原著ハ太字 臨床ハ斜字 學會、抄録、雜ハ普通

## A

亞鉛分布	
實驗的肉腫家兔諸臟器	428
「 <u>アクチノミコーゼ</u> 」	
帶電沃度原子滲透法ニヨル——	354
惡性腫瘍	
——ニ於ケル尿	620
——ニ於ケル血清亞鉛含量	620
「 <u>アナトキシン</u> 」	
破傷風ノ——注射	168
荒木講師ヨリノ通信	653
「 <u>アルコール</u> 」注射療法	
顔筋痙攣——	629
「 <u>アセチールヒヨリン</u> 」	
——ニヨル關節強直	360

## B

バンチ氏病	
——脾臓摘出手術例	631
葡萄狀球菌性瀰漫性腹膜炎	
扁桃腺炎ニ結發セル——	611
葡萄糖	
——腹腔免疫	125
ブラウン氏吻合	
——ノX線所見	632
「 <u>ブュラウ氏</u> 」留置胸腔排膿管	171
ビュルゲル氏型閉塞栓子性血管炎	446
汎發性腹膜炎	443
膨脹療法	443
膀胱	
萎縮——	812
移植後ノ——感染	117
——憩室ノ側方到達法	175
正常——ノ特發性腹腔内破裂	359
弛緩性	359
輸尿管ノ——内移植	117,264
膀胱結石	
巨大ナル——	567
小兒——	345

## C

腸	
——ノ紫外線照射	357
——運動	560
重積症	557
腸閉塞症	
膽石ニヨル——	558
慢性	379
腸管	
——内瓦斯	139
——囊種様氣腫	802
——漿液膜、細菌吸收	635
——漿膜、色素液吸收	563
——運動麻痺	635
腸管膜	
——捻轉症	617
——靜脈血栓	171
——發生セル「 <u>ペリテリオーム</u> 」	439
腸骨前上棘骨片分離	623
直腸	
——ニ浸潤セル子宮癌	564
——癌	564
——淋疾ノ治療方針	565
聽神經腫瘍	806
中頭蓋窩「 <u>ノイリノーム</u> 」	337
——剔出治驗例	430
蟲様突起	
外傷性——	562
——切除	562
——ノX線検査	163
——ノX線像	561
蟲様突起炎	
——性汎發性化膿性腹膜炎	800
D	
打撲性陰莖折傷	175
大腸炎	175
大腿骨	
——頸部骨折	814

——骨折ノ治療 .....	549
大網膜	
——ニ原發セル Coelitheliome Malignum .....	430
炎症性——腫瘤 .....	437
男子乳腺肉腫 .....	629
男子尿失禁症 .....	515
第Ⅳ性病	
直腸癌ヲ思ハセタル—— .....	564
——ノ外科的意義 .....	355
脱腸 .....	358
唾石症	
無痛性—— .....	420
動物血輪血 .....	629
動脈	
——硬化性腹腔内溢血 .....	171
獨和會話 .....	188, 449, 639
Dupuytren 氏攣縮 .....	447

## E

「エーテル」	
高壓——麻醉 .....	805
炎症性大網膜腫瘤 .....	437

## F

腹壓	
——ニヨル S 狀結腸破裂 .....	553
腹部	
——外科的疾患 .....	434
——外科ノ 1 考案 .....	434
——大動脈瘤特發性破裂 .....	623
外科的——疾患 .....	629
——腫瘤 .....	165
腹壁	
——腫瘤 .....	422, 629
腹腔	
葡萄糖内服ニヨル——免疫 .....	125
——吸收, 循環 .....	357
腹膜	
——外手術侵襲 .....	635
——癒着 .....	355
腹膜炎	
瓦斯——	
——血清療法 .....	170
穿孔性—— .....	349

腹膜囊腫 .....	632
噴門	
人——検査法 .....	356
——痙攣ノ原因, 療法 .....	356
——痙攣症ヘ 1 新術式 .....	357
噴門癌	
——切除術 .....	632
糞瘻	
結核性—— .....	803
副甲状腺剔除術 .....	360
副腎	
——組織化學的變化 .....	633

## G

外傷	
——ノ制腐の處置 .....	627
外傷性	
——膀胱炎 .....	631
——鼠蹊部辜丸轉位 .....	636
——癲癇 .....	798
癌腫	
——炎症反應 .....	441
胃腸吻合口ノ—— .....	172
頸部淋巴腺腫脹中—— .....	162
——性頸部淋巴腺腫 .....	400
顔筋	
——痙攣 .....	629
瓦斯	
腸管内—— .....	139
外科	
——的腹部腫瘤 .....	629
近畿——學會, .....	424, 619
滿洲——學會 .....	344
歐米——巡歴談 .....	177
逆行性嵌頓「ヘルニア」 .....	163

## H

肺「アテレクトアゼ」 .....	624
肺「エンボリー」 .....	433
肺結核 .....	624
肺虚脱症 .....	339
急性充實性—— .....	625
肺栓塞	
外傷ニ續發セル—— .....	355

肺臓	
——切除術	433
——刺入セル注射針	355
白色葡萄狀球菌	243
白色膽汁	350
——ノ生成	630
半月狀骨壞死	575
針	
右心内——	356
破傷風	
—— $\gamma$ アナトキシン $\gamma$ 注射	168
——抗血清注射	168
脾脱疽	
外部——ノ治療	571
皮膚	
——電気反應	168
——Locus minoris resistentiae	104
——消毒ノ比較	353
——浸出液	589
皮膚癌	
興味アル——	429
Hirschsprung 氏病	174
泌尿器	
小兒——異常	445
$\gamma$ ヒスタミン $\gamma$	
——成立ニ及ボス膽汁	570
$\gamma$ ヒスタミナーゼ $\gamma$	
急性穿孔性腹膜炎ニ對スル——	437
脾臓	
——摘出手術	631
——肋骨周圍結核症	631
——淋巴濾胞	173
蜂窩織炎	
廻腸終末部ニ於ケル——	811
後腹膜——	351
放射線	
——腹腔臓器障碍	169
ホワイトヘッド氏手術	
痔核ニ對スル——	565
平壓開胸肺離術	433
扁桃腺炎	611
$\gamma$ ヘルニア $\gamma$	

——注射療法	811
逆行性嵌頓——	436
嵌頓股輪——	350
臍ノ異常位置	435
横隔膜——	436
——統計的觀察	434
表皮癌	430
瘰癧	
—— $\gamma$ コクチゲン $\gamma$ 軟膏ニヨル治療	161, 523, 568

## I

胃	
——直達検査法	169
——異物	173
犬ノ——	500
家兎ノ——	392
——各部ノ含血量	392, 500
胃腸	
——吻合	808
——多發性肉腫	437
胃腸通過障碍症	148
胃癌	
15歳女子ニ發生セル——	632
胃潰瘍	
若年者	808
消化性——	172
罕孔セル——切除	172
手術不能ノ——	172
胃洗滌	
——ト腸運動	560
胃腫瘍	
珍稀ナル——	559
胃全剔出	559
異物性炎症性腹壁腫瘍	629
遺傳	
口蓋破裂ノ——的過程	169
兎唇ノ——的過程	169
井出氏微毒反應	620
$\gamma$ イレウス $\gamma$	
——ノ異型	561, 634
實驗の急性——	139
——副腎ノ組織化學的變化	633
畸形腸管ニ因スル——	557

——症狀ヲ起セル炎症性盲腸腫瘍	633
——外傷性脾臓炎	631
——死因ト腸管ノ吸收	1
——死因ト水分ノ鹽素代謝	40
——死因ト水分ノ食鹽給與	63

# 「イムペデン」

——現象	
——完全破却	429
——好適煮沸時間	492
結核菌各種成劑ニ於ケル——	290
抗大腸菌特殊免疫凝集素	597
產生ノ阻害	597
「ツベルクリン」ノ——完全破却	492, 772
「ツベルクリン」ノ——現象	762
「ワクチン」ノ「M」志賀「ノ——現象	781
陰莖成形術	813

## J

Jedlicke 氏	
——脾臓囊腫手術法	173
痔核	
——ホワイトヘッド氏手術	565
耳下腺炎	
術後ノ——	365
耳下線管瘻	347
耳下線腫瘍	
稀有ナル——	430
右下顎部ニ現ハレタル——	548
人胃底腺壁細胞	
——ノ微細構造	559
人工肛門	
——閉鎖法	358
腎「カルブンケル」	637
腎石	
實驗的——生成	630
腎臓	
——剔除術	429
——結石	341
——肉腫	565
——刺傷	359
——周圍膿瘍	341
——腫瘍	551
塵埃吸入	432

充實性肺虚脱	433
--------	-----

## 十二指腸

——空腸移行部癌	560
——空腸彎曲部癌	808
右側——窩「ヘルニア」	358
——X線診斷法	421
——X線所見	633

## 十二指腸潰瘍

若年者——	808
穿孔セル——切除	172

## 上顎癌

——切除術	338
-------	-----

上顎隣骨疽	623
-------	-----

上膊骨體上骨折	303
---------	-----

## 上行結腸

廻盲部——重積症	557
----------	-----

## 靜脈

——麻醉劑	424
-------	-----

## 靜脈血栓

腸管膜——	171
-------	-----

## K

化學的制腐藥	425
--------	-----

化骨不全症	621
-------	-----

## 寒性膿瘍

「リグラ」カ——カ	342
-----------	-----

## 感染

細菌——	273
------	-----

——性骨髓炎	329
--------	-----

## 嵌頓「ヘルニア」

逆行性——	163
-------	-----

## 嵌頓股輪

——「ヘルニア」	350
----------	-----

肝油前療法	172
-------	-----

## 肝臓

——機能	505
------	-----

——膿瘍	629
------	-----

——結石症	346
-------	-----

## 蛔蟲

——群ノX線像	444
---------	-----

## 廻腸

——ノ混合型	444
--------	-----

——穿孔	634, 553
------	----------

廻盲部			
——ノ X 線學的研究	164	物理的變化	431
——ノ X 線學的檢索	561	「腦脊髓液壓ト」	628
潰瘍		基底細胞癌	450
浸蝕性——	637	甲狀腺	
化膿性耳下腺炎	412	——作用	805
下肢伸長手術	447	——心臟疾患	302
火傷		交感神經	
——ノ早期手術	805	——「デアフテレーゼ」	571
結核菌		末梢血管	442
——各種成劑ニ於ケル「イムペデン」	290	——切除術	178
——免疫元軟膏	579	——手術適應症	442
——増容反應	663	腰部——切除	447
——「コクチゲン」軟膏貼用	463	骨關節結核	427
——「コクチゲン」軟膏皮膚貼用	474	骨折	
結核性		——治療障礙	622
——黃癰	803	——力學的觀察	427
——胃穿孔	165	再骨折ノ——治療	427
結腸炎	444	骨周圍性假骨腫	448
結腸周圍炎性腫痛	557	骨髓	
結腸軸捻轉	558	——ノ局所免疫	201, 203, 216, 224, 233
血壓亢進症	571	——免疫ノ本態	233
血液		——内「オプソニン」產生	224
——補給劑	352	骨髓炎	
——形態學的變化	379	幼兒ノ——	361
急性腸管閉塞症——	86	骨髓炎癰	814
血液像	427	骨髓膜炎	
血管腫	623	幼兒——	176
血清「リパーゼ」	619	抗白色葡萄球菌	201
血清療法		抗結核菌	
腹膜炎——	170	——増容素	463, 474, 480
血栓性靜脈炎	360	膠質二酸化「トリウム」	
血糖量變動	170	——腦室造影法	443
頸部淋巴腺	162	空腸潰瘍	
高張護膜液	443	——新切除法	809
氣管支		急性	
——異物	624	——汎發性膽汁性腹膜炎	436
——完全橫斷	430	——蟲樣突起炎	562
畸形		——腹管閉塞症	86
——腸管	557	——腸閉塞	139
指趾——ノ統計	623	腹腔——重複病像	443
筋「クロナキシー」		——腹膜炎	805
		——「イレウス」	139
		——充實性肺虛脫症	625

——廻腸結腸炎 .....	174
——化膿性耳下腺炎 .....	412
——骨髓炎 .....	243
——感染性骨髓炎 .....	329
——穿孔性腹膜炎 .....	437
——膀胱炎 .....	420
——膀胱壞死 .....	627, 573
經肋膜的腎固定術 .....	175
健常馬蹄腎 .....	359
舉丸	
——停滯ノ手術の療法 .....	574
肛門直腸脱 .....	345
肛門直腸遊離法 .....	555, 636
虚脱	
——診断 .....	440
胸壁肉腫剔出 .....	355
胸腔	
——内異物 .....	433
<b>L</b>	
レックリングハウゼン氏病 .....	428
Locus minoris resistentiae .....	104
<b>M</b>	
麻痺足	
小兒—— .....	359
慢性	
——腸閉塞症 .....	379
——靜脈瘤性潰瘍 .....	813
末梢神經	
物理的變化 .....	431
麻痺	
高壓Lエーテル—— .....	805
心臟疾患ト—— .....	352
手術時疼痛ニ對スル——法 .....	352
常用——藥 .....	560
盲腸腫瘍	
Lイレウス <sup>7</sup> 症狀ヲ起セル—— .....	633
迷行膀胱 .....	341
迷走性血栓性靜脈炎 .....	168
免疫	
——一元軟膏皮膚貼用量 .....	579
骨髓——ノ本態 .....	233
——局所皮膚 .....	638

——元貼用 .....	656
——元ノ骨髓内注射 .....	203
無菌の手術	
——創ノ化膿 .....	348
無端消息子法 .....	171
無痛性唾石症 .....	420

## N

内痔核	
——手術の治療方針 .....	636
軟膏	
——含有免疫元ノ濃度 .....	480
——含有免疫元ノ量 .....	480
結核菌「コクチゲン」—— .....	463, 474
軟骨性外骨腫	
——ノ遺傳 .....	427
肉腫	
レックリンハウゼン氏病ト—— .....	428
肉腫性	
膀胱囊腫 .....	631
腦	
——脊髓液壓 .....	628
——外傷 .....	170
腦下垂體腫瘍 .....	535
膿胸遺殘死腔 .....	331
腦囊腫	
外傷性—— .....	806
膿漏眼	
家兎—— .....	677
腦震盪	
——治療 .....	806
乳癌 .....	429
乳腺	
男子——肉腫 .....	629
乳頭部	
——根治手術	
尿道	
——下裂 .....	636
女子——先天性閉塞 .....	446
尿道斷裂	
杖創ニヨル—— .....	567
尿腹膜炎 .....	635
尿「デアスターゼ」 .....	620

尿尖禁症	
男子——	515
尿 <sub>L</sub> ウロビリリン <sup>1</sup>	620

## O

黄疸症	358
横隔膜	
——ヘルニア <sup>1</sup>	436
——下膿瘍	171, 162
——神経捻除術	347
——運動	434 629

レオプソニン <sup>1</sup>	
抗白色葡萄状球菌——	201
骨髓内——産生	224
局所性特殊——産生	203
全身性特殊——産生	203

## P

レポリテオグラム <sup>1</sup>	560
レペリテリオーム <sup>1</sup>	439

## R

レヒチス <sup>1</sup>	
——性O字脚	621

卵巢	
——囊腫ノ破裂	563
レリグラ <sup>1</sup>	342
——狀裂頭絛蟲	635
淋巴系結合	357
淋巴肉腫	348
淋菌 <sub>L</sub> アナワクチン <sup>1</sup>	
——ノ毒力	715
喰菌作用ヲ指標トスル——	725
——免疫元ノ治療効果	701
淋菌 <sub>L</sub> アルゴチン <sup>1</sup>	
——免疫元ノ治療効果	701

淋菌 <sub>L</sub> コクチゲン <sup>1</sup>	
腸 <sub>L</sub> チフスワクチン <sup>1</sup>	677
連鎖状球菌 <sub>L</sub> ワクチン <sup>1</sup>	689
淋菌 <sub>L</sub> ワクチン <sup>1</sup>	701
淋菌 <sub>L</sub> ワクチン <sup>1</sup>	
喰菌作用	744
——免疫元ノ治療効果	701
淋巴系疾患	
性病的——	813

レリビオドペリトネウム <sup>1</sup>	805
肋骨 <sub>L</sub> カリエス <sup>1</sup>	
——統計的觀察	345

肋骨周囲結核症	
緑膿菌	
——免疫	621

## S

細菌	
——吸收	635
嫌氣性——	637
——感染	273
細菌性赤痢	349
三叉神経痛	355

赤血球	
——沈降反應	86
——沈降速度	427

接種結核	616
精密壓迫固定器	404
脊椎關節炎	360

脊椎 <sub>L</sub> カリエス <sup>1</sup>	
——觀血的療法	622
——手術治驗例	432

脊髓麻痺	
小兒——	575
脊髓損傷	
——治癒	431

セルチン <sup>1</sup>	
——破壊酵素	569
——中ノ血壓下降物質	619

纖維脂肪腫	567
指肪栓塞	354
——ノ療法	571

紫外線	
——照射	426
弛緩性膀胱	359

子宮癌	
直腸＝浸潤セル——	564
神經纖維腫症	806

神經刺戟	561
浸蝕性潰瘍	548, 637
指趾	
——畸形ノ統計	623



膝屈曲繃縮	175
小腸憩室腫	561
小腸間膜	
——裂孔	634
消化性潰瘍	572
食道癌	
原發性——	356
食道竇性狭窄症	171
手術	
——用, 腸線ノ選擇	426
——後疾患	568, 626
——中ノ組織學的診斷	352
出血乳房	429
總腸骨動脈血栓	624
鼠蹊ヘルニア <sup>1</sup>	
——根治手術	573
鼠蹊淋巴肉芽腫	
創傷	
——治療	353
——治療法	353
總輸膽管結石	
——診斷, 處置	573
總輸膽管狭窄症	558
スピナチン <sup>1</sup>	
——破壊酵素	569
脾臓	
——微毒	631
——壞疽	631
——單獨破裂	439
——萎縮	557
脾臓炎	
急性——	429
脾臓萎縮	
Jedlicke 氏——手術方法	173
——十二指腸吻合術	173
肉腫性——	631
巨大ナル肉腫性——	559
脾臓瘻	
ウイルスング氏管ヨリノ導管挿入	444
脾臓頭部癌	
——根治手術	808

脾臓壊死	
急性——	810
S 字狀結腸	
腹壓ニヨル——破裂	553, 634

## T

Talma 手術	
多發性原發癌	329
丹毒	
——Prontosil 療法	354
膽汁	
スピヘタミン <sup>1</sup> 成立ニ及ボス——	570
膽汁瘻	
——X 線検査	357
膽囊	
迅速撮影法	559
——肝臓, 淋巴系結合	357
膽瘻	
——造設術	358
膽石	
——腸閉塞症	558
銅試食ニヨル——生成	559
——狭窄	630
頸痛	
外傷性——	798
頭部混合腫	
幼兒——	430
糖尿病	
——観血的療法	573
——性壞疽	574
止血劑	
——外科的應用	627
東京私立北里傳研製舊ツベルクリン <sup>1</sup>	290
頭骨内潮溼性骨	355
トライツヘルニア <sup>1</sup>	573

## U

ワイペル・パーソンス・ミュラン氏法	808
ウイルスング氏管	444
右顎關節骨性強直	622
輸尿管	
——膀胱内移植	117, 364
輸尿管結石	566

## 輸血

- 動物血—— 629  
——時ノ溶血性<sub>L</sub>ショック<sub>1</sub> 440

## 遊走腎

- 胃腸通過障礙症 148

## V

<sub>L</sub>ビタミン<sub>1</sub>C

- 分布 428

## W

- W字狀嵌頓 358

## X

## X線

- ブラウン氏吻合—— 632  
腸重積症—— 557  
蟲様突起—— 561, 163  
炎症性疾患—— 638  
十二指腸—— 421, 633  
上顎癌切除術—— 338  
——局所照射 547  
——照射家兎血液 426

- 胆汁瘻—— 357  
蛔蟲群——像 444  
廻盲部—— 164, 561

## Y

## 溶血性

- 連鎖狀球菌感染 353  
輸血時ノ——<sub>L</sub>ショック<sub>1</sub> 440  
腰部交感神經 339

## Z

- 舌癌 155

## 舌膿瘍

- 原發性—— 800

## 象皮病

- 外科的處置 176  
——療法 447

- 臓器<sub>L</sub>エキス<sub>1</sub> 620

- 頭蓋窩腦砂腫 170

## 頭蓋骨癌腫

- 轉移性—— 798

# Inhaltsverzeichnis

(Ausgegeben 1936)

## ORIGINAL

<b>Takeda, Y.,</b> Experimentelle Untersuchungen über den akuten Darmverschluss.	
I. Mitteilung: Ueber die Todesursache und die Resorption des Darmes beim akuten Darmverschluss. ....	1
II. Mitteilung: Ueber die Todesursache und den Wasser- und Chlorwechsel beim akuten Darmverschluss. ....	40
III. Mitteilung: Ueber die Todesursache und den Wert der Zufuhr von Wasser und Kochsalz beim akuten Darmverschluss. ....	63
IV. Mitteilung: Ueber die Blutmorphologie und die Blutkörperchensenkungsreaktion beim akuten Darmverschluss. ....	86
<b>Yoshida, H.,</b> Erforschung über die optimale Applikationszeit der Koktigensalbe auf beliebige Hautstellen zur Verhütung der Infektion des in loco erzeugten Locus minoris resistentiae durch i. v. eingeführte gleichnamige Erreger. ....	104
<b>Tabuchi, S.,</b> Ueber den Infektionsweg bei Pyelitis im Anschluss an die Ureterimplantation in die Hamblase. ....	117
<b>Shakudo, M.,</b> Ueber die Gewinnung der Immunität der peritonealen Höhle durch die enterale Immunisierung mittels Traubenzucker enthaltender Koktigene. ....	125
<b>Mitsuba, K., Suehiro, S., Takaoka, T. und Tachii, M.,</b> Ueber das Schicksal von Darmgase bei Ileus und dessen Einflüsse auf den Organismus. ....	139
<b>Miyaji, K.,</b> Zum Mechanismus der Passagestörung des Magendarmtrakts bei der Wanderniere. ....	148
<b>Nakata, J.,</b> Erforschung über die Knochenmarkimmunisierung.	
I. Mitteilung: Ueber die Auslösung des spezifischen Oponins in einem lokalisierten Knochenmark. ....	201
II. Mitteilung: Die zeitliche Verschiebung des spezifischen Oponins sowohl im Blutserum als auch im immunisatorisch vorbehandelten Knochenmark. ....	208
III. Mitteilung: Ueber die Menge des Immunogens zur Auslösung des gleichwertigen maximalen Oponins sowohl im lokalen Knochenmark als auch im zirkulierenden Blute. ....	216
IV. Mitteilung: Kann der Gehalt des Oponins im Knochenmark durch wiederholte Einspritzungen des Koktigens unendlich gesteigert werden? ....	224
V. Mitteilung: Experimentelle Erklärung über das Wesen der lokalisierten aktiven Knochenmarkimmunität. ....	233
<b>Nakata, J.,</b> Ueber die gegen Staphylococcus pyogenes albus gerichtete volu-	

minierende Wirkung der Gewebssäfte bei Osteomyelitis-Patienten. ....	243
<b>Nakata, J.</b> , Beiträge zur statistischen Kenntnis der akuten infektiösen Osteomyelitis. ....	251
<b>Tabuchi, S.</b> , Ueber die Einpflanzung des Ureters in die Harnblase. ....	264
<b>Takeda, Y.</b> , Die Resistenz der Bauchhöhle septischen Infektionen gegenüber im Vergleich zu der anderer Körperteile. ....	275
<b>Tatsui, Sh.</b> , Ueber das Impedin in den antigenen Präparaten aus Tuberkelbazillen.	
I. Mitteilung: Das bei der Phagozytose nachweisbare Impedin im Alttuberkulin vom Kitasato-Institut. ....	290
<b>Okamura, Y.</b> , Ueber die Behandlung der supracondylären Humerusfraktur, insbesondere über die mittels der Drahtextension. ....	303
<b>Ishino, T.</b> , Ein Fall von Multiplen Primären Karzinomen. ....	320
<b>Tabuchi, S.</b> , Ueber die postoperative Parotitis (Ist die Parotis weniger resistent als die anderen Speicheldrüsen gegen die Einwanderung von Keimen, besonders gegen die von Staphylokokken?). ....	365
<b>Takeda, Y.</b> , Experimentelle Forschung über den chronischen Ileus.	
I. Ueber die Veränderungen des morphologischen Blutbildes beim chronischen Ileus. ....	379
<b>Nakata, J.</b> , Ueber den Blutgehalt der Magenwand.	
I. Mitteilung: Bei normalen Kaninchenmägen. ....	392
<b>Yokoyama, M.</b> , Ein Fall von primärer krebsiger Halslymphdrüsenanschwellung.	400
<b>Ishino, T.</b> , Einführung eines neuen Präzisionsdruckfixierapparates ins Instrumentarium radiologicum. ....	404
<b>Shoyama, S.</b> , Erforschung über die Volumination der Tuberkelbazillen.	
I. Mitteilung: Ueber die Erzeugung des Tuberkelbazillen voluminierenden Antikörpers im beliebigen Hautlokal bei normalen Kaninchen. ....	463
II. Mitteilung: Ueber die Erzeugung des Tuberkelbazillen voluminierenden Antikörpers im zirkulierenden Blute der Kaninchen mit einem durch TB-Koktigen vorbehandelten Hautlokal. ....	474
III. Mitteilung: Ueber den optimalen Gehalt des Antigens in der Salbe für die maximale Auslösung des Antikörpers im vorbehandelten Hautlokal. ...	480
<b>Tatsui, Sh.</b> , Ueber das Impedin in den antigenen Präparaten aus Tuberkelbazillen.	
II. Mitteilung: Ueber die optimale Abkochungszeit des des Alttuberkulins vom Kitasato-Institut für die totale Vernichtung des Impedins. ....	492
<b>Nakata, J.</b> , Ueber den Blutgehalt der Magenwand.	
II. Mitteilung: Bei normalen Hundemägen. ....	500

<b>Takeda, Y.,</b> Experimentelle Forschung über den chronischen Ileus.	
II. Ueber den Einfluss des chronischen Ileus auf die Leber.....	505
<b>Yasima, T.,</b> Zur operativen Heilung von Incontinentia urinae bei Männern. ...	515
<b>Takeuchi, J.,</b> Vergleich der Koktigensalbe mit der Vakzinesalbe von Strepto-	
u. Staphylokokken im therapeutischen Erfolge bei Panaritium.....	523
<b>Shoyama, S.,</b> Erforschung über die Volumination der Tuberkelbazillen.	
IV. Mitteilung: Ueber die maximale Auslösung des spezifisch volumi-	
nierenden Antikörpers im Blutserum bei der kutanen Applikation der TB-	
Koktigensalbe.....	579
V. Mitteilung: Ueber die Spezifität der durch Presssäfte der vorbehandelten	
Hautlokale herbeigeführten Volumination der Tuberkelbazillen.....	589
<b>Tatsui, Sh.,</b> Ueber das Impedin in den antigenen Präparaten aus Tuberkel-	
bazillen.	
III. Mitteilung: Nachweis des im Kitasato-Alttuberkulin enthaltenen Impedins	
bei der immunisatorischen Auslösung des Anticoliagglutinins. ....	597
<b>Nagaoka, H.,</b> Ein Fall von diffuser Staphylokokkenperitonitis nach Mandel-	
entzündung.....	611
<b>Shoyama, S.,</b> Erforschung über die Volumination der Tuberkelbazillen.	
VI. Mitteilung: Prüfung der Presssäfte der vorbehandelten Hautlokale auf	
die gegen Tuberkelbazillen gerichteten voluminierenden Wirkung. ....	657
VII. Mitteilung: Ueber den zahlenmässigen Nachweis der Spezifität bzw.	
Verwandschaft der Stämme von Tuberkelbazillen mittels der Volumination. ....	663
<b>Nakagawa, K.,</b> Nachweis der in den gewöhnlichen nativen Vakzinen ent-	
haltenen antiimmunisatorisch wirkenden Energie (des Impedins) bei der	
Behandlung der experimentellen Blennorrhoe-Augen der Kaninchen mittels des	
Gonokokkenkoktigens.	
I. Mitteilung: Ueber das Impedin der Typhusbazillenvakzine. ....	677
II. Mitteilung: Ueber das Impedin in der Staphylokokkenvakzine. ....	683
III. Mitteilung: Ueber das Impedin in der Streptokokkenvakzine. ....	689
IV. Mitteilung: Ueber das Impedin in der Gonokokkenvakzine. ....	694
<b>Nakagawa, K.,</b> Vergleich der nativen Immunogenen von Gonokokken mit den	
abgekochten in der kurativen Wirkung gegen experimentelle Blennorrhoe bei	
Kaninchen. ....	701
<b>Nakagawa, K.,</b> Erforschung über die Anavakzine von Gonokokken.	
I. Mitteilung: Vergleich der Toxizität der primären (ungekochten) Anavakzine	
mit der der abgekochten. ....	715
II. Mitteilung: Vergleich der nativen (primären) Anavakzine mit der abge-	
kochten in der die Auslösung eines beliebigen Agglutinins fördernden Wirkung. ....	725

III. Mitteilung: Vergleich der nativen (primären) Anavakzine mit der abgekochten in der die Auslösung des Antipferdeserumpräzipitins fördernden Wirkung.....	735
IV. Mitteilung: Vergleich der nativen (primären) Anavakzine mit der abgekochten in der Förderung der normalen Phagozytose im zirkulierenden Blute normaler Meerschweinchen.....	744
<b>Tatsui, Sh.,</b> Ueber das Impedin in den antigenen Präparaten aus Tuberkelbazillen.	
IV. Mitteilung: Das bei der immunisatorischen Auslösung des Antipferdeserumpräzipitins nachweisbare Impedin im Alttuberkulin vom Kitasato-Institut.	753
V. Mitteilung: Nachweis des Impedins im Alttuberkulin vom Dencken-Institut bei der Förderung normaler Phagozytose von Staphylokokken. ...	762
VI. Mitteilung: Erforschung über die optimale Abkochungszeit des Dencken-Tuberkulins zur totalen Vernichtung des Impedins und somit zur völligen Regenerierung der Antigenavidität.....	772
VII. Mitteilung: Erforschung über die sensibilisierte Tuberkelbazillen-Vakzine (Shiga) bezüglich d s Impedins.....	781

# Sachregister. (Band XIII, 1936)

[本索引ハ歐文論文及歐文抄録ノミヨリ抄録ス]

## A

Abkochungszeit (optimale)	
—des Alttuberkulins .....	492
—des Denken-Tuberkulins .....	772
Agglutinin	
Anticoli— .....	597
beliebige— .....	725
Alttuberkulin	
Kitasato— .....	579
— vom Denken-Institut .....	762
— vom Kitasato-Institut .....	290, 492, 753
Anavakzine	
abgekochte— .....	715, 725, 735, 744
native (primäre)— .....	725, 735, 744
primäre (ungekochte)— .....	715
— von Gonokokken .....	715, 725, 735, 744
Anticoliagglutinin .....	597
Antigen	
— in der Salbe .....	480
— avidität .....	772
Antikörper	
— im beliebigen Hautlokal .....	463
— im Blutserum .....	579
— im vorbehandelten Hautlokal .....	480
— im zirkul. Blute .....	474
Antipferdeserumpräzipitin .....	735, 753
Applikationszeit (optimale)	
— der Koktigensalbe .....	104

## B

Bauchhöhle	
Resistenz der — .....	275
Blennorrhoe	
experimentellen— .....	701
— Augen .....	677, 683, 689, 694
Blut	
— bild beim chronischen Ileus .....	397
— gehalt der Magenwand .....	392
— Körperchensenkungsreaktion beim akuten	

Darmverschluss .....	86
— morphologie beim akuten Darmverschluss .....	86

Blutserum	
Opsonin im — .....	208

## C

Chlorwechsel	
— beim akuten Darmverschluss .....	40

## D

Darmgase	
— bei Ileus .....	139

Darmverschluss (akut)	
Blutmorphologie beim — .....	86
Blutkörperchensenkungsreaktion beim — .....	86
Resorption des Darmes beim — .....	1
Todesursache beim — .....	1, 40, 63
Wasser- und Chlorwechsel beim — .....	40
Zufuhr von Wasser und Kochsalz beim — .....	63
Drahtexteusion .....	303

## G

Gewebssäfte	
— bei Osteomyelitis-patienten .....	243

Gonokokken	
Anavakzine von — .....	715, 725, 735, 744
— koktigen .....	677, 683, 689, 694
native Immunogenen von — .....	701
— vakzine .....	694

## H

Halslymphdrüse	
primäre krebsige — auswellung .....	400
Harnblase .....	117
Humerusfraktur	
supracondylären — .....	303

## I

Ileus	
Darmgase bei — .....	139
Blutbild beim chronischen — .....	379
Einfluss des chronischen — .....	505

## Immunisierung

Knochenmark—	201, 208, 216, 224, 233
enterale—	125

## Immunität

—der peritonealen Höhle	125
Knochenmark—	233

## Immunogen

—zur Auslösung des gleichwert. maxim.	
Opsonins	216
abgekochten—von Gonokokken	701
nativen—von Gonokokken	701

## Impedin

—im Alt tuberkulin vom Deukon-Institut	
.....	762
—im Alt tuberkulin vom Kitasato-Institut	
.....	290, 753
im Kitasato-Alt tuberkulin enthaltenen—	597
—in den antigenen Präparaten aus	
Tuberkelbazillen	
.....	290, 492, 597, 753, 762, 772, 781
—in der Gonokokkenvakzine	694
—in der Staphylokokkenvakzine	683
—in der Streptokokkenvakzine	689
—in der Typhusbazillenvakzine	677
totale Vernichtung des—	492, 772

Incontinentia urinae	515
----------------------	-----

## Infektion

septische—	275
Verhütung der—	104
—weg bei Pyelitis	117

Instrumentarium radiologicum	404
------------------------------	-----

**K**

## Karzinom

multiple primäre Karzinome	320
----------------------------	-----

## Knochenmark

Opsonin im—	224
Opsonin im immunisatorisch vorbehandelten	
—	208
Opsonin im lokalen—	216
Opsonin in einem lokalisierte—	201
—immunisierung	201, 208, 216, 224, 233
—immunität	233

## Koktigen

Gonokokken—	677, 683, 689, 694
T. B.—	474
Trauben Zucker enthaltende—	125
wiederholte Einspritzungen des—	224

## Koktigensalbe

optimale Applikationszeit der—	104
—von Strepto- und Staphylokokken	523
T.B.—	579

Kurative Wirkung	701
------------------	-----

**L**

Leber	505
Locus minoris resistentiae	104

**M**

## Magen

Hund—	500
Kaninchen—	392

## Magendarmtraktus

Passage Störung des—	148
----------------------	-----

## Magenwand

Blutgehalt der—	392, 500
-----------------	----------

Mandelentzündung	611
------------------	-----

**O**

## Opsonin

—im Knochenmark	224
gleichwert. maxim.—im lokalen Knochenmark	
.....	216
gleichwert. maxim.—im zirkul. Blute	216
spezif.—im Blutserum	208
spezif.—im immunisat. vorbehandelt. Knochen-	
mark	208
spezif.—in einem lokalis. Knochenmark	201

## Osteomyelitis

akute infektiöse—	251
—patienten	243

**P**

Panaritium	523
------------	-----

Parotis	365
---------	-----

## Parotitis

postoperative—	365
----------------	-----

## Peritoneale Höhle

Immunität der—	125
----------------	-----



Phagozytose	
bei der—nachweisbare Impedin .....	290
—im zirkulirenden Blute .....	744
normaler—von Staphylokokken .....	762
Präzisionsdruckfixierapparat .....	404
Presssäfte	
—der vorbehandelten Hautlokale .....	589, 657
Pyelitis	
Infektionsweg bei— .....	117

## S

Speicheldrüse .....	365
Staphylococcus pyogenes albus .....	243
Staphylokokken	
diffuse—peritonitis .....	611
Einwanderung von— .....	365
Koktigensalbe von— .....	523
Phagozytose von— .....	762
Vakzinesalbe von— .....	523
—vakzine .....	683
Streptokokken	
Koktigensalbe von— .....	523
Vakzinesalbe von— .....	523
—vakzine .....	689

## T

Todesursach	
—beim akuten Darmverschluss .....	1, 40, 63
Tuberkelbazillen .....	290, 463, 474, 480, 492, 579, 597,

657, 663, 753, 762, 772, 781	
—vakzine (Shiga) .....	781
Tuberkulin	
Denken— .....	772
Typhusbazillen	
—vakzine .....	677

## U

Ureter	
Einpflanzung des— .....	264
—implantation .....	117

## V

Vakzine	
—der Gonokokken .....	694
gewöhnl. nativ.— .....	677, 683, 689, 694
sensibilisierte Tuberkelbazillen—(Shiga) ...	781
Staphylokokken— .....	683
Streptokokken— .....	689
Typhusbazillen— .....	694
—salbe von Strepto- u. Staphylokokken ...	523

Volumination	
der Tuberkelbazillen	
.....	463, 474, 480, 579, 589, 657, 663
voluminierende Wirkung der Gewebssäfte.....	243

## W

Wanderniere .....	148
Wasserwechsel	
—beim akuten Darmverschluss .....	40